

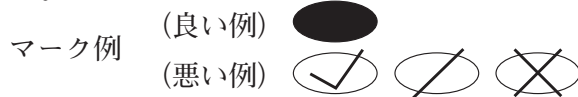
令和3年4月1日付け採用
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 美術 高等学校 美術

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

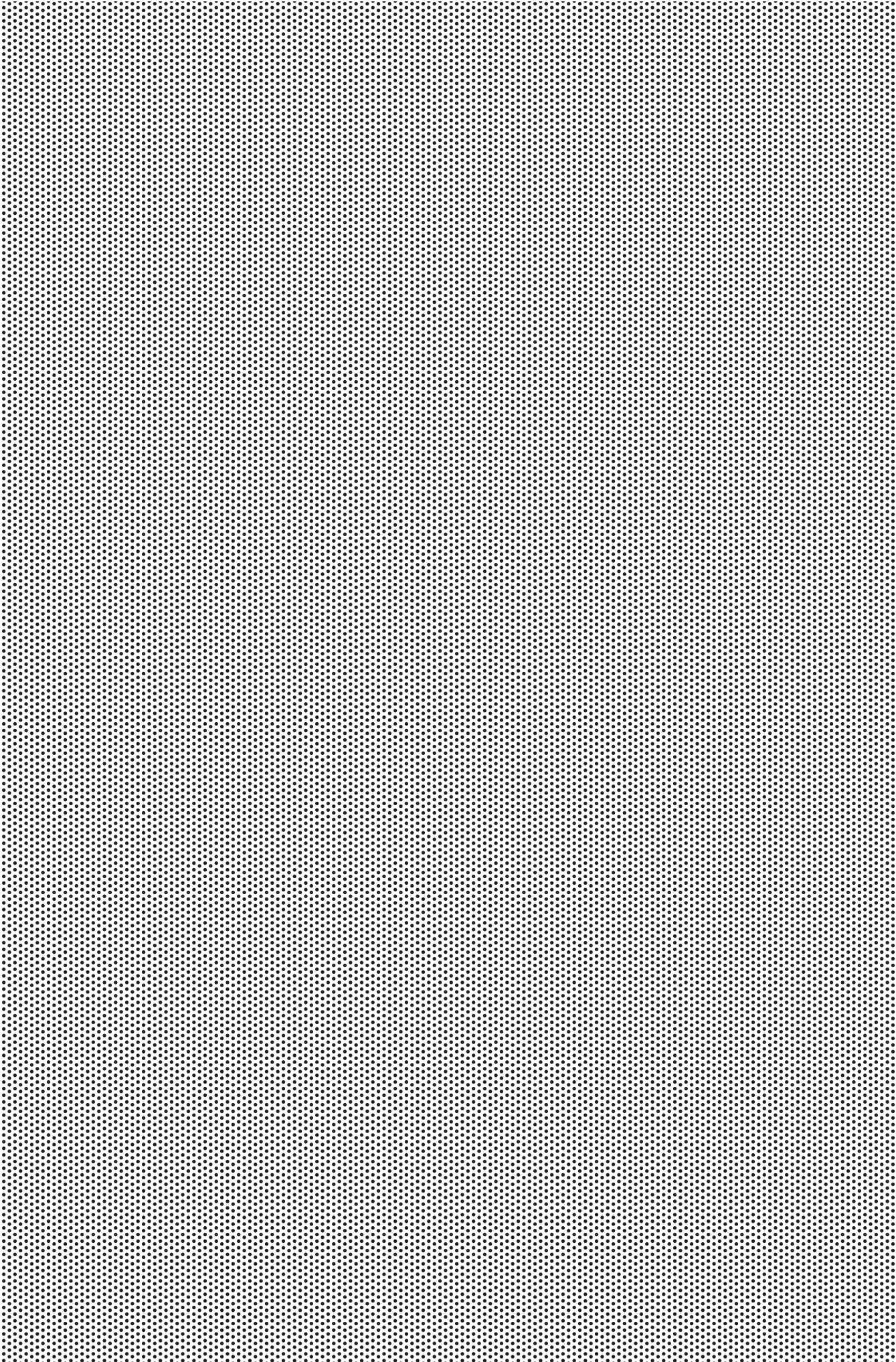
受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、西洋美術における美術様式や運動の特徴について説明したものである。古い時代のものから順に正しく並んでいるものを、下のa～dから一つ選びなさい。

ア

- ① フランスの宮廷を中心に、洗練された軽快で優美な様式が流行した。絵画では、アントワヌ・ヴァトーやジャン・オノレ・フラゴナールらが活躍した。
- ② 半円のアーチを有し、分厚く堅固な壁を用いたピサ大聖堂のような建築が代表とされる。
- ③ イタリアのフィレンツェから始まった、古代ギリシャやローマの人間を中心とした文化を理想として、その再生と復興を求めた運動である。
- ④ 建築の特徴として尖頭アーチ、強い垂直性などが挙げられ、大きな窓やステンドグラスが用いられるようになった。

- a ①－②－③－④
- b ①－③－④－②
- c ②－①－④－③
- d ②－④－③－①

(2) 次の文は、江戸時代の美術について説明したものである。文中の(①)・(②)に該当する作品の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

イ

17世紀前半、京都の俵屋宗達が、大和絵や古典に学びおおらかで装飾性豊かな様式を生み出した。風神雷神図屏風のように、金地を広やかな空間に見たて、機知に富んだ大胆な構図と華麗な色彩、動きのある画面が特色である。宗達から約100年の後、京都の尾形光琳は宗達の画風に強い影響を受け、宗達の様式に自己の造形感覚と厳しさを加え、(①)や(②)など洗練された作品を描いた。

- a ① 紅白梅図屏風 ② 夏秋草図屏風
- b ① 燕子花図屏風 ② 紅白梅図屏風
- c ① 松林図屏風 ② 燕子花図屏風
- d ① 夏秋草図屏風 ② 松林図屏風

- 2 次の文は、フレスコ画について説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

フレスコは (①) を壁に塗り、それが乾かないうちに水で溶いた顔料を用いて描く技法である。乾かないうちに描かなければならないため、その日描ける部分だけ (①) を塗る。この部分を (②) という。

(①)

- a テンペラ b 膠 c 漆喰 d 粘土

(②)

- a グラッシ b シノピア c スフマート d ジョルナータ

- 3 シルクスクリーンについて、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 版形式として正しいものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 孔版 b 平版 c 凸版 d 凹版

(2) 次の文の (①) に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

版を作る方法には、ブロック法、カッティング法、感光法がある。カッティング法で行う場合、まず、下絵に (①) を貼り付け、図柄をナイフで切り抜く。そして、切り抜いたものをスクリーンにアイロンで貼り付ける。

- a 紗 b リスフィルム c ニス原紙 d グランド

(3) 感光法の製版工程として誤っているものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 感光剤を温水で溶き、乳液と混ぜ、よく攪拌する。
b 感光乳剤をバケツに入れ、スクリーンに押しつけるように塗布する。
c 感光器に、ポジ原画とスクリーンが密着するようにセットし、露光する。
d 感光を終えたら、感光した部分を水で洗い流す。

- (4) レリーフの石膏どりと石膏液を作る工程の留意点について、文中の (①)・(②) に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

粘土の完成作品に、石膏液を手早く5mmくらいの厚さになるようにかける。その上を針金で補強し、さらに石膏液をかける。石膏が硬化したら中の粘土を抜き出し、(①)をつくる。(①)に離型剤を塗った後、その中に石膏液を流し込んで、スタッフや針金で補強する。外の(①)を壊し、石膏像を出す。

石膏液を作るには、石膏粉と同量の水をボールに入れ、石膏粉を少しずつバラバラと落として(②)させていく。石膏は水面からやや出るくらいになるまで入れ、上澄の水を切り、泡立たないように混ぜ合わせ均質にする。

(①)

- a 雄型 b 母型 c 雌型 d 鋳型

(②)

- a 沈殿 b 圧縮 c 回転 d 振動

第2問 次の1～7の問いに答えなさい。

1 書体についての説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ア

- a 和文の明朝体は、縦線が太く横線が細く出来ていて、文字の端には鱗が特徴としてみられる。
- b 欧文書体のローマン系は、セリフと呼ばれる突出線が付いている。
- c 和文のゴシック体は縦横がほぼ同じ太さで線に抑揚がないが、力強さを感じることができる。
- d 欧文書体のサンセリフ系は、縦線が太く横線が細く、縦、横、斜めの直線と曲線で構成されている。

2 次の文の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。 イ

色立体は、色を整理し立体的に配列したもので、中心に (①) の縦軸を置き、横軸は色の (②) を示している。

- a ① 明度 ② 彩度
- b ① 明度 ② 色相
- c ① 彩度 ② 色相
- d ① 彩度 ② 明度

3 パッケージデザインの視点から日本の風呂敷について考えた時、その優れたデザイン性の説明文として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。 ウ

- a そのままでは運びにくい瓶や球状のスイカなども包むことができる。
- b 何度でも使用でき、畳むだけで収納できる。
- c 衝撃に対する保護性に優れている。
- d 結んで肩に掛けても使うことができる。

- 4 次の文の (①) に該当する語句を, 下の a ~ d から一つ選びなさい。 エ

年齢や性別・身体的能力などの違いをこえて, できる限り多くの人を使いやすいように製品や建物, 空間をデザインしようとする考え方を (①) デザインという。(①) デザインは, 1980年代にアメリカの建築家ロナルド・メイスによって提唱された。

- a バリアフリー b ユニバーサル c サステナブル d エコ

- 5 次の文の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを, 下の a ~ d から一つ選びなさい。 オ

物体の表面に映像を投影する技術のことを (①) という。映像の変化に伴って, (②) も変化していくように見えるのが大きな特徴である。

- a ① パブリック・アート ② 投影された物体
b ① プロジェクション・マッピング ② 投影された物体
c ① パブリック・アート ② 周囲の空間
d ① プロジェクション・マッピング ② 周囲の空間

- 6 コマ撮りアニメーションの説明文として誤っているものを, 次の a ~ d から一つ選びなさい。 カ

- a 回転させてスリットからのぞき込むと動いて見える。
b 現実では不可能な動きを演出できる。
c 撮影した写真をコンピュータに取り込み, 連続再生する。
d 実写で人物などの被写体を少しずつ動かしてコマ撮りをする。

7 次の文は、カメラの操作について説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

キ

光の量の調整を絞りと言う。絞りの数値が大きいと (①), 数値が小さくなると (②)。

- | | | |
|---|----------------|----------------|
| a | ① 遠近感が表され | ② 画面全体がシャープになる |
| b | ① 後部がぼけ | ② 画面全体がソフトになる |
| c | ① 画面全体がシャープになり | ② 後部がぼける |
| d | ① 画面全体がソフトになり | ② 遠近感が表される |

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、七宝焼きの基本的な制作過程の一部である。文中の(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

ア

銅版を切り出し、(①)で形を整えて素地をつくる。表面のひび割れを防ぐため、裏面に釉薬をまんべんなく塗る。水洗いした釉薬を(②)ですくい上げ、銅板の表面に盛って彩色する。

- a ① たがね ② ホセ
 b ① 木鋸 ② ホセ
 c ① たがね ② 柄ごて
 d ① 木鋸 ② 柄ごて

- (2) 有線七宝において、仕上げの焼成の直前に行う制作工程として最も適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。 イ

- a 釉薬を均一に振りかける。
 b グリーンカーボン砥石で研磨する。
 c 銀線に白芨びやくきょう(のり)をつけ銅板に立てる。
 d 銀線の高さのやや上まで釉薬をさす。

- (3) 次の作品の作者名を、下のa～dから一つ選びなさい。 ウ

- a 並河靖之 b ルイス・C・ティファニー
 c ルネ・ラリック d エミール・ガレ

- 2 次の文は、陶芸におけるある技法の一部を説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

型紙をつくり陶土板にあて、へらで垂直に切り抜き、組み立てやすいように表面が乾くまで待つ。接合する面に傷をつけ、どべを塗りつける。陶土板が変形しないように注意しながら確実につける。細いひも状の陶土を内部の接合部に置き、へらや人差し指で押し延ばし補強する。組み立てが済んだら、接合部分や角をなめらかに整える。

陶土板は、塊にした陶土の両端に、陶土板をつくる枚数分の (①) を置き、のし棒で延ばした後、一番上の (①) を外し、切り糸を (①) に沿わせるように引き切ることで作ることができる。

この技法を一般的に (②) という。

(①)

- a たたら板 b たたき板 c トチ d ツク

(②)

- a 手びねり b 板づくり c ひもづくり d ろくろづくり

- 3 次の文は、木工芸について説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

日本の伝統的な木材加工技術の一つに (①) がある。これは、木材を板や棒状に切り出し、一方に孔をあけ、一方にほぞを削り、二つの部分を組み合わせて家具などを作る技法である。広葉樹の一つである (②) は、軟質で軽く、湿気に強く狂いも少ないため高級材として家具などに多用されてきた。

(①)

- a ^{ひき}挽物 b ^{さし}指物 c ^{ゆい}結物 d ^{くり}削物

(②)

- a ^{ひのき}檜 b 杉 c ^{きり}桐 d ^{けやき}欒

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)は作者名を、(5)は制作年代の古いものから順に正しく並んでいるものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

作者名

(1)

a ジャン・フランソワ・ミレー

b アンドリユー・ワイエス

c ジャン・オーギュスト・ドミニク・アングル

d ギュスターヴ・クールベ

(2)

a エドヴァルト・ムンク

b サルバドール・ダリ

c イヴ・タンギー

d パウル・クレー

(3)

- a ディエゴ・ベラスケス
c レンブラント・ファン・レイン

- b ヨハネス・フェルメール
d エゴン・シーレ

(4)

- a ヤン・ヴァン・エイク
c ラファエロ・サンティ

- b エル・グレコ
d ピーテル・ブリューゲル

(5) 制作年代の古い順

- a (3) → (2) → (4) → (1)
b (4) → (2) → (3) → (1)
c (3) → (1) → (2) → (4)
d (4) → (3) → (2) → (1)

2 次の(1)～(4)の作者名を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(4)

(3)

(1)

a 速水御舟 b 上村松園 c 小倉遊亀 d 古賀春江

(2)

a 円山応挙 b 歌川国芳 c 菱田春草 d 伊藤若冲

(3)

a 牧谿 b 雪舟 c 如拙 d 長谷川等伯

(4)

a 梅原龍三郎 b 青木繁 c 岸田劉生 d 高橋由一

3 次の (1) ~ (3) の作者名を, それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(1)

a M.C.エッシャー b 福田繁雄 c 田中一光 d 小島良平

(2)

a 松永真 b 木田安彦 c 林恭三 d 亀倉雄策

(3)

a 脇坂克二 b 永井一正 c U.G.サトー d 馬場雄二

4 次の(1)～(6)の作者名を、それぞれ次頁のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(1)

ス

- | | |
|----------------|----------------|
| a デボラ・バターフィールド | b 砂澤ビッキ |
| c マリノ・マリーニ | d デイエゴ・ジャコメッティ |

(2)

セ

- | | |
|---------|-------------------|
| a 高村光太郎 | b ミケランジェロ・ブオナローティ |
| c 萩原守衛 | d オーギュスト・ロダン |

(3)

ソ

- | | |
|------------------|----------------|
| a オシップ・ザッキン | b アメデオ・モディリアーニ |
| c ヴィルヘルム・レームブルック | d パブロ・ピカソ |

(4)

タ

- | | |
|-----------------|--------------|
| a ヨーゼフ・ボイス | b ジョージ・シーガル |
| c ロバート・ラウシェンバーグ | d エスコバル・マリソル |

(5)

チ

- | | |
|------------------|----------------|
| a クリストとジャンヌ・クロード | b クレス・オルデンバーグ |
| c 荒川修作とマドリン・ギンズ | d アレクサンダー・カルダー |

(6)

ツ

- | | |
|--------------|--------------|
| a ハンス・アルプ | b エデュアルド・チリダ |
| c ロバート・スミッソン | d イサム・ノグチ |

5 次の (1)・(2) の作者名を, それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(1)

a 尾形乾山 b 河井寛次郎 c 野々村仁清 d 本阿弥光悦

(2)

a 黒田辰秋 b 芹沢銈介 c 小黒三郎 d 松田権六

(選択問題 中学校)

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）・（ ② ）に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，（ ① ）などについて考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい，（ ② ），感性を豊かにし，心豊かな生活を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

(①)

- a 美術の働き
- b 目的や機能
- c 造形的な特徴
- d 機能性と美しさとの調和

(②)

- a 美術を追求する心情を育み
- b 美術を愛好する心情を育み
- c 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育て
- d 主体的に表現したり鑑賞したりする態度を育て

- 2 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ，表現の意図と工夫，機能性と美しさとの調和，美術の働きなどについて考え，主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，（ ① ）ことができるようにする。

（ ① ）

- a 造形的な見方・考え方を広げたりする
- b 造形的な見方・考え方を深めたりする
- c 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする
- d 美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりする

- 3 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

(3) （ ① ）美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。

（ ① ）

- a 楽しく
- b 進んで
- c 自主的に
- d 主体的に

(選択問題 高等学校)

第5問 次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 1 目標」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）～（ ③ ）に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

- (2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，（ ① ）などについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) （ ② ）美術の幅広い創造活動に取り組み，（ ③ ）とともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

（ ① ）

- a 美術の働き
- b 生活や社会の中の美術
- c 造形の要素の働き
- d 機能性と美しさとの調和

（ ② ）

- a 試行錯誤しながら
- b 主体的に
- c 自ら
- d 進んで

（ ③ ）

- a 美術を愛好する心情を培う
- b 美術を愛好する心情を伸ばす
- c 生涯にわたり美術を追求する心情を育む
- d 生涯にわたり美術を愛好する心情を育む

2 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第4 美術I 2 内容 A 表現（1）絵画・彫刻」の一部を抜粋したものである。文中の（ ① ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

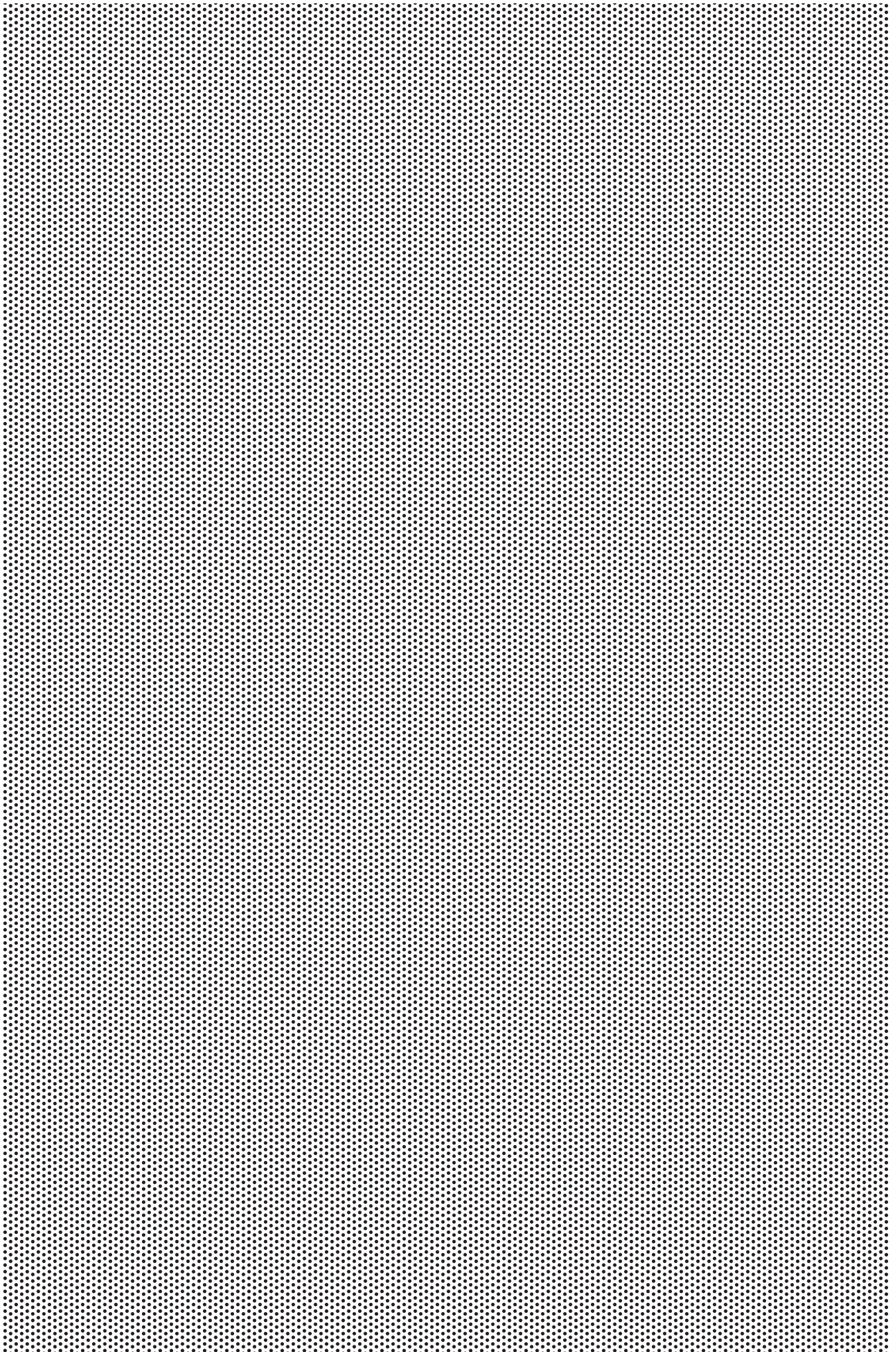
ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

（ア） 自然や自己，生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと，夢や想像などから主題を生成すること。

（イ）（ ① ），形体や色彩，構成などについて考え，創造的な表現の構想を練ること。

（ ① ）

- a 主題を追求し
- b 造形要素の働きを生かし
- c 表現効果を生かし
- d 表現形式の特性を生かし



- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号

ア

 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の

b

 をマークしてください。

（例）

ア	a	<input checked="" type="radio"/>	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 第5問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

